

さいたま市インフルエンザ週報(速報)

2022-2023年シーズン 第6週(2月6日~2月12日)

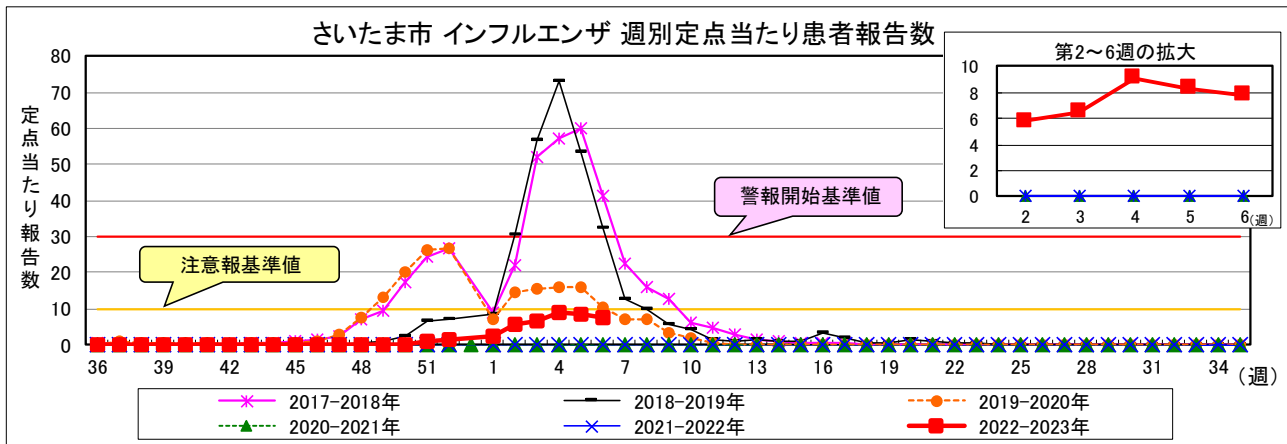
※さいたま市では小児科・内科診療を行っている41か所の定点医療機関の協力によりインフルエンザの流行状況を把握しています。また、基幹定点医療機関(1か所)の協力によりインフルエンザによる入院患者の発生状況を把握しています。

市内のインフルエンザ患者報告状況

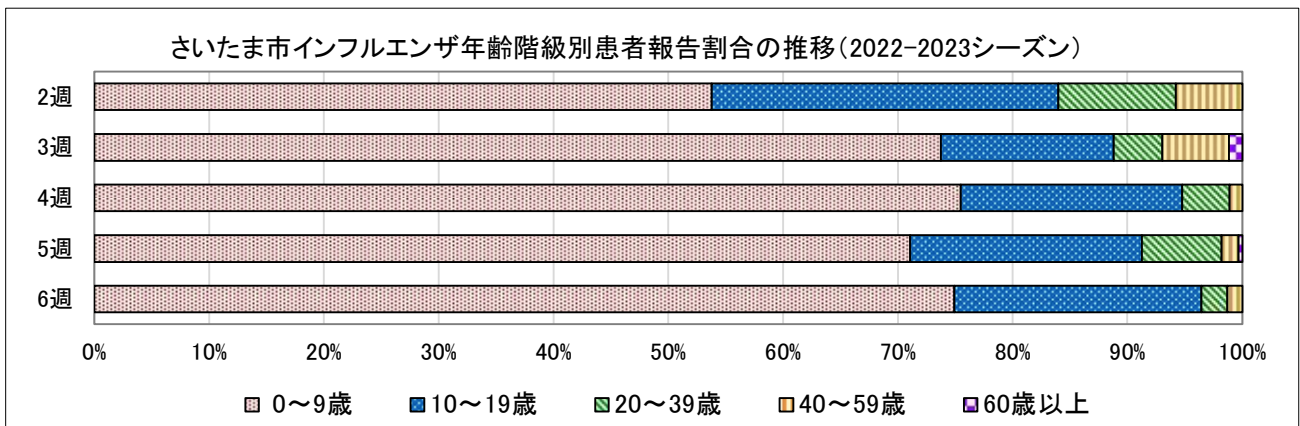
定点医療機関からの患者報告数は311人、定点当たり報告数は先週の8.30人から7.78人と2週連続して減少しました。また、基幹定点医療機関から入院患者の報告が1人ありました。

全国では第5週(1月30日~2月5日)の定点当たり報告数が12.66人と注意報レベル(定点当たり報告数10人以上)となっており、前週の10.36人よりも増加しています。

引き続きインフルエンザの予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケットを励行し、体調の悪いときは無理をせず早めに休養しましょう。



※インフルエンザは通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、9月から翌年の8月までを1シーズンとして、グラフを作成しています。



★令和5年2月14日13時現在の速報です。